第１学年　学級活動「たのしいきゅうしょく」

1　題材について

本時の題材である楽しい給食は、学級活動（2）エ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」に関わる内容である。給食の片付け方や配膳の仕方を知り、楽しく給食を食べることをねらいとしている。給食のスムーズな配膳の仕方や片付け方を考えたり、給食の献立が栄養バランスを考えて作られていることや、おいしく楽しく食事をするためのマナーを知ったりすることをめあてとして授業を行った。

2　学習の様子

４月から５月の１ヶ月間、小学校での給食を経験してきた。これまでは、手洗い・うがいから始める給食の用意や、白衣に着替えて当番の役割をこなすことを一生懸命行ってきたが、１ヶ月経験したことで給食のシステムにも慣れ、「しゃべってたら食べ終わらなかった。」「先生、もうおなかいっぱいです。」などの発言が子どもたちの中から出てくるようになった。そのため、どうしたら時間内に食べ終わるのかや、残菜の量が多いという課題に気付かせ、楽しく時間内に食べ終わるための作戦を考えることにした。

まず、子どもたちにどうして時間内に食べられないかや、残してしまうのかなどの課題への原因について意見を出させた。子どもたちからは、「苦手なものがあって食べられない。」「給食時間の放送のクイズが楽しくて、ついおしゃべりに夢中になってしまう。」「箸をよく落として時間がなくなる。」などの意見が出た。そこから、問題の解決策を考えることにした。

【子どもたちから出た作戦】

・食べるときの姿勢よくする。
　→姿勢を良くすることで、箸を落としたり、ものをこぼしたりすることが減る。おしゃべりも減る。
・お茶碗を持って食べる。
・苦手なものがあったり、量が多かったりときは先に減らす。苦手なものから食べる。
・タイマーを見る。
・「もぐもぐタイム」になったらしゃべらずに食べる。

この作戦でおいしく楽しく給食を食べようという話になった。

後日、給食の時間に学校栄養教諭の学校訪問があり、給食はたくさんの調理員さんの手で時間をかけて作られていることを知った。また、給食は栄養バランスを考えて作られていることをクイズ形式で知り、給食を残さず食べることで元気に学校生活を送ることができることが分かった。

３　児童の様子

４月当初は６年生にサポートしてもらいながら配膳をしていたが、自分たちで食べきれる量を考え、給食を配膳することができるようになってきた。

学校栄養教諭の話を真剣に聞き、聞き終わった後は、「苦手なものも頑張って挑戦してみます。」「先生！全部ご飯食べ切れたよ。」と一生懸命給食を食べる様子が見られた。

４　まとめ

自分たちで自分たちの課題に気付き、改善策を考えることができた。また、学校栄養教諭に指導していただいたことで、給食を頑張って食べようという気持ちが高まった。しかし、学校栄養教諭に指導していただいた給食の時間だけでなく、日々の給食の様子を見ながら、その場で良い姿勢の子や頑張って食べている子へ称賛の声をかけることで、続けて給食を食べることへの意欲を継続させて行くことが大切だと感じた。